



MINAMATA みなまた 市議会だより

第62号

平成26年7月15日

編集 みなまた市議会
だより編集委員会

発行 水俣市議会
電話61-1661

<http://www.city.minamata.lg.jp>

E-mail: [gikai@city.](mailto:gikai@city.minamata.lg.jp)

[minamata.lg.jp](http://www.city.minamata.lg.jp)



● 平成26年度一般会計補正予算17億6,232万1千円を修正可決

● 環境大学院拠点整備とプレミアム商品券発行に対して決議採択

● 子ども医療費無料化を中学生まで拡大（10月から実施）

野口みずき選手

〈特集〉 議会報告会を開催しました（18ページから掲載）

子どもの医療費助成対象年齢拡大

水俣市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正



平成26年10月1日から子どもの医療費助成が中学生まで助成対象となります

これまでの助成対象

満12歳



平成26年10月1日から助成対象

満15歳

子どもの医療費助成制度とは？

子どもの医療費を、県と市が助成する制度です。県は3歳まで及び多子世帯の就学前までを対象にしています。そのため、4歳からの医療費助成は市が独自で行います。水俣市内の医療機関で受診した場合は窓口での医療費の支払いはありません。

ただし、次の場合は窓口で支払った後、領収書により払い戻しの手続きが必要となります。

- ①入院または市外の医療機関で受診した場合
- ②学校の管理下で負傷した場合（日本スポーツ振興センターの「災害共済給付制度」を優先して適用します。）

※医療費とは、社会保険各法による療養に要した費用で、保険の対象となった費用です。

新たに735名が無料に！！

問 子ども医療費助成を中学生まで広げると対象人数は何人増えるのか

答 対象となる人数は735名増えます。

問 助成拡大により、予算はいくら増えるのか

答 補正予算で提案している半年分473万円が増額分です。



6月定例会の報告

平成26年度 一般会計補正予算を修正可決 条例の改正を可決

平成26年第2回6月定例市議会が6月2日（月）から6月25日（水）までの24日間で開かれました。

市長から条例改正や平成26年度補正予算などの議案が提出され、議案の審議や市政に対する一般質問等を行いました。

●水俣市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償条例の一部を改正

水俣病資料館における語り部講話事業の充実を図ります

●水俣市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正

非常勤職員の勤務条件を改善します

●水俣市湯の鶴温泉保健センターの設置等に関する条例の一部を改正

湯の鶴温泉保健センターを改装します



【平成25年度 会計別補正予算】

(千円)

会 計 名	補正額	補正後の額
<一般会計> *専決処分	△48,179	15,894,881

【平成26年度 会計別補正予算】

(千円)

会 計 名	補正額	補正後の額
<一般会計>	1,762,321	14,190,092
<特別会計>	143,560	9,646,246
国民健康保険事業	△ 1,937	4,536,654
後期高齢者医療	△ 4,775	389,126
介護保険	3,176	3,282,767
公共下水道事業	147,096	1,437,699
<企業会計>	—	—
水道事業（収益的収入）	26,760	591,346
病院事業（資本的収入）	110,000	563,037

●環境大学院拠点整備 3,751万円 (みなまた環境まちづくり推進事業)

現在水俣で教育活動を行っている大学等の活動を支援するための拠点整備をします。

(注：新たに大学ができる訳ではありません。)

●プレミアム商品券発行事業

1億1,383万円

水俣市民の消費需要の拡大を図り、市内商店の活性化、振興を図ります。

※議会において、平成26年度水俣市一般会計補正予算（第1号）のうち、みなまた環境まちづくり推進事業及びプレミアム商品券発行事業について、慎重かつ真摯に対応するよう市長に決議書（注）を提出しました。

(注) 決議書については7ページに掲載しています。

主な事業

●水俣病資料館整備事業

1億189万円

水俣病公式確認60年を迎えるに当たり、新語り部室増築工事、常設展示改修工事など、水俣病資料館の施設構成、展示内容の見直し



水俣病資料館

●太陽エネルギー利用システム導入補助事業

1,439万円

地球温暖化防止に向けた温室効果ガス削減のため、太陽光発電及び太陽熱利用システムを市内の住宅に設置する際に、設置費用の一部を補助し、導入促進を図るもので、経済振興の面から、市内事業者優遇のため補助金の上乗せを行います。

●エコ住宅建築促進総合支援補助金

1,950万円

水俣市の伝統的構法による環境配慮型住宅を推進するため、市産木材の需要拡大及び伝統建築技術の継承地域経済の活性化の3つを目的として市民が地元の資源を活用し環境配慮型の住宅を建築又は購入する場合、費用の一部を補助します。

●みなまた環境絵本大賞出版費

494万円

「絵本」と「環境」を組み合わせて、“みなまた”が想い考え、行動し、本当に伝えていきたい「環境」を広く、分かりやすい形で発信するため、「環境絵本」をつくり出版します。そして、この「環境絵本」が100年先、1000年先へと多様な生態系を紡いでいくためのひとつの源流になることを目指します。



市立図書館

●地場企業・新産業雇用創出促進補助金他

6,112万円

地場企業の「企業力」を高めるための支援を行い、事業拡大や新事業展開、水俣の特性を活かした新産業創出と雇用の創出を図ります。

●産業振興戦略策定事業

1,122万円

水俣の地域特性等を踏まえながら、重点支援の対象・分野、施策相互の関連性、「人」に焦点をあてた産業政策、社会的存在価値のある産業づくり、関係機関との連携・つながり、長期的視点に立った産業施策を前提に将来の地域産業のあるべき将来像を描き、具体的な施策や取り組みを検討していきます。

●水産振興対策事業

250万円

県産ブランドとして熊本県が推薦するクマモト・オイスターの産地化を目指し養殖技術を確認するとともに、第5次水俣・芦北地域振興計画に基づき、「クマモト・オイスター」の復活を図り、漁業所得の工場及び水俣芦北地域の水産業の振興を図ります。



クマモト・オイスター

●青年就農給付金

300万円

45歳以下の新規就農者に対し、経営が軌道に乗るまでの期間（最長5年）給付金を給付し、新規就農者の確保を図ります。



今年度の

●介護予防地域づくり事業

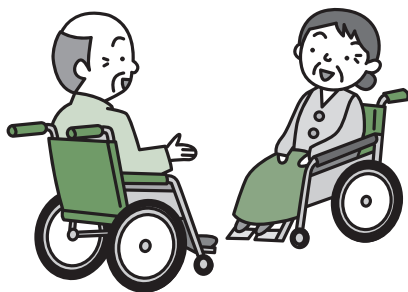
1億3,859万円

平成26年度中に整備予定の小規模特別養護老人ホームに係る補助事業で、市内3小規模多機能型居宅介護事業所のうちスプリンクラー設備のない事業所の整備を支援します。

●社会参加促進事業

323万円

認知症で介護保険等の支援につながない方や、地域になじめていないなどの引きこもりがちの方への社会参加の第一歩としての居場所作りと併せて、水俣モデルの「認知症カフェ」事業実施のために、試験事業を立ち上げます。



●法人立保育所運営費

1,863万円

保育士の人材確保を図ることによって、保育が必要な児童の受け入れ態勢を整え、待機児童の発生を防ぐとともに、現在勤務している保育士の現場離れを防ぐことを目的としています。

●久木野小学校外壁改修及び塗装工事

2,834万円

学校施設の構造体の耐震化については終了しましたが、天井材や照明器具、校舎の内外壁等の非構造部材については、耐震対策が遅れているため、必要性・緊急性を考慮し早期に改修及び塗装工事を行っていきます。



久木野小学校

●昭和・白浜町線歩道（第二小学校周辺）整備事業

2,512万円

歩道を整備することで、小中学生の通学時の安全を確保するとともに、一般の歩行者の安全で快適な通行空間を確保します。



昭和・白浜町線

●袋インター関連道路改良事業

2,220万円

南九州西回り自動車道袋インターチェンジの建設に伴い、国道3号線とインターチェンジを結ぶ袋インター線の新設と、小田代農免農道終点とインターチェンジを結ぶ野川・袋線の道路改良を計画します。

●道路ストック総点検事業

4,721万円

市道の長寿命化に向けた取り組みとして、市道の現状を調査し、維持管理計画を策定することで、安全で快適な交通環境を確保します。

●久木野地区防火水槽設置工事、消火栓工事負担金他

1,353万円

既存の防火水槽の修繕、消防水利の少ない地域への防火水槽の新設、消火栓の整備、また、老朽化した消防団格納庫の修繕費などの補助を実施することで、地域防災力の充実・強化します。



防火水槽

意見書 2件を可決

- 水俣病被害者にかかわる医療給付費の国民健康保険負担分について自治体に負担が生じないよう財政措置を求める意見書について

水俣病関係の医療費に関する国県の財政措置は80%にとどまっているため、水俣市の保険財政の負担になっている。環境省・厚生労働省は、水俣病は第三者行為と認めているので、国と県において十分な財政措置が取られることを求めるもの。

- 協同労働の協同組合法（仮称）の速やかな制定を求める意見書について

働くことをめぐる環境が大きく変化する中、NPOやボランティア団体などの一つである協同労働の協同組合は注目を集めているが、現在、法的根拠がないため、入札や契約社会保障の面で問題があるので関係法律の制定を求めるもの。

請願 1件を不採択

- 年金2・5%削減法を廃止する意見書提出に関する請願

陳情 2件を採択

- 「協同出資・協同経営で働く協同組合法」仮称の速やかな制定について意見書の提出を求める陳情

- 住宅の新築・リフォームに対する助成制度の創設を求める陳情

陳情 3件を不採択

- 特定秘密保護法撤廃の意見書提出を求める陳情

- 特定秘密保護法の撤廃を求める意見書採択の陳情

- 九州電力川内原子力発電所1・2号機の再稼働に反対する決議を求める陳情

人事

- 副市長の選任について

本山 祐二 氏（水俣市薄原）

- 教育委員会委員の任命について

吉本 哲裕 氏（水俣市南福寺）

河田 奈保子 氏（水俣市大園）

- 固定資産評価員の選任について

本望 実 氏（水俣市月浦）

専決処分3件を承認

- 水俣市税条例等の一部を改正

- 水俣市国民健康保険税条例の一部を改正

- 平成25年度水俣市一般会計補正予算

△4,817万9千円

（補正予算後の平成25年度予算総額

158億94,88万1千円）

平成26年度一般会計補正予算（第1号）に対する決議

平成26年度水俣市一般会計補正予算（第1号）のうち、下記の事項について、慎重かつ真摯に対応することを強く求める。

記

1 みなまた環境まちづくり推進事業について

みなまた環境まちづくり推進事業は、高等教育・研究機関の設置及び誘致に関し、拠点施設を整備するにあたり、施設整備に係る設計を行うと同時に整備後の事業展開、産官学連携等に係る調査検討を行うものであり、市民の関心も極めて高い事業である。

ただ、本市の厳しい財政状況の中、施設の建設費や維持管理費など多大な予算を支出する当該事業拠点整備の候補地選定については、市民の理解と協力が不可欠である。

よって、かかる状況に鑑み、高等教育・研究拠点施設概要パンフレット印刷事業及び高等教育・研究拠点施設設計委託料事業の執行にあたっては、以下の事項を付するものとする。

- (1) 多くの市民に関心を持ってもらえる高等教育機関となることを目指し、パンフレットの印刷に入る前に、水俣連携環境大学院構想を水俣連携環境産業大学院構想など、自然科学分野も想起できるようなネーミングを検討すること。
- (2) 旧第三中学校跡地が第一候補との考えを改め、再度、旧水俣高校商業棟跡地、市の遊休施設である水天荘跡地、深川小学校跡地の利用を比較検討すること。
- (3) 水俣市の他の施設との位置関係や将来のまちのあり方をあらゆる角度から検討し、しっかりとしたランドデザインを描いたうえで、候補地を選定すること。
- (4) 設計や設計のためのボーリングなどの調査を行う前に、議会に報告し、広く市民に情報を公開し市民の理解を得ること。
- (5) 高等教育機関の整備により、研究の成果が地域の産業と経済の活性化に寄与し、高等教育機関の施設が多くの市民に愛される施設となるよう努力すること。

2 プレミアム商品券発行事業について

プレミアム商品券発行事業は、消費税増税に係る経済対策であり、市内の消費の喚起により地域経済活性化に寄与するものとして市長が選挙公約で掲げた政策を具体化する事業である。

ただ、本市の厳しい財政状況の中、事業に係る付加価値分（プレミアム）10,000千円及び事業に係る人件費、印刷費などの経費3,829千円の支出を伴う事業であるだけに、前回実施時の反省点も踏まえ、商店街と大型店との利用格差を是正するための仕組み、多くの世帯に行き渡らなかった不公平感を是正する仕組み、その効果を最大限にするための実施時期など慎重に検討する必要がある。

よって、かかる状況に鑑み、プレミアム商品券発行事業の執行にあたっては、以下の事項を付するものとする。

- (1) 商店街を初めプレミアム商品券取扱店には、プレミアム商品券利用期間中に、消費者を呼び込む営業努力を促すなど官民連携の事業となるよう市が積極的に働きかけること。
- (2) 多くの世帯に行き渡る仕組みを講じること。
- (3) 実施時期は、さまざまな検討を行い最も適切な時期に行うこと。
- (4) 過去2回の事業効果の確認は十分とは言えず、今回の事業実施後、速やかに商店街各店を初め参加各店の売り上げ向上にどの程度貢献したか及び事業実施の効果の確認ができるデータを明示すること。

以上、決議する。

平成26年6月25日

水 俣 市 議 会

▼賛否の分かれた議案▼

件名	会派・議員名						創水会			無限21			新政同友 クラブ		水俣 クラブ		日 本 共 産 党		公明 党	結 果
	大川 末長	高岡 利治	岩村 龍男	谷口 明弘	瀧上 道昭	真野 頼隆	谷口 眞次	藤本 壽子	緒方 誠也	塩崎 信介	福田 齊	中村 幸治	田口 憲雄	野中 重男	川上 紗智子	牧下 恭之				
●九州電力原子力発電所 1・2号機の再稼働に反 対する決議を求めた陳情 について	議 長	反	反	反	反	反	賛	賛	賛	反	反	賛	反	賛	賛	反	不 採 択			
	～討論～ 賛成（6） 現在、30km圏内の住民の避難計画は策定半ばであり、施設の準備、バスの確保、スクリー ニングの場所等多くの課題が未定である。 また、水俣市自身も避難しなければならない地域との指摘もあり、そのような中での再 稼働には賛成できない。 陳情者の思いは子どもや孫の命を守りたい、故郷を失いたくないという思いからだと思 う。 水俣病の教訓の一つは人格権を軽視したことであり、この生存の権利を守るためにも、 この陳情書については賛成 反対（9） 経済産業省資源エネルギー庁は原発が稼働しないことで電力を占める化石燃料の依存度 は88%となり、1973年の第1次オイルショック時の80%より高い水準となっていると指摘 している。化石燃料を多く使うことで、温室効果ガスが増えることはもとより、電気料 金についても、家庭向けで平均2割、工業産業向けで平均3割の値上げとなっている。 回復しつつある景気への影響も考えられ、また、自然エネルギーが普及しつつはあるが、 自然エネルギーの普及は家庭への負担が増える仕組みになっている。 現状ではただちに原子力発電を廃止できるような環境は整っていないため、この陳情に ついては反対。																			
●「年金2.5%削減法」を廃 止する意見書提出に関す る請願について	議 長	反	反	反	反	反	賛	賛	賛	反	反	反	反	賛	賛	反	不 採 択			
	～討論～ 賛成（5） 国会はほとんど審議することなく、この法案を可決削減理由とし、当時の政府が高齢者の生 活と経済への悪影響を避けるため、年金を引き下げないで据え置いたということですが、い まの高齢者の暮らしが当時と比べて良くなっているとは思えない。 また、すでに2%が削減されており、高齢者の多い水俣市は削減中止を求める声を上げてい くことは当然である。 反対（10） 確かに厚生年金の平均受給月額額は年々下がっており、国民の生活を圧迫していると思うが、 一方で高齢化社会の拡大により、年金財政は逼迫している状況である。 将来の現役世代の高負担に繋がらないよう、元の水準に戻し、年金対策については消費税に よる何らかの措置で対応すべき。																			
●特定秘密保護法撤廃の意 見書提出を求める陳情に ついて及び特定秘密保護 法の撤廃を求める意見書 採択の陳情について	議 長	反	反	反	反	反	賛	賛	賛	反	反	賛	反	賛	賛	反	不 採 択			
	～討論～ 賛成（6） この法案の一番の問題は十分な審議をしないまま数の力で押し切った成立過程に問題がある。 また、特定秘密の定義が曖昧で、秘密の範囲が際限なく拡大する危険性が高く、処罰範囲が 歯止めなく広がる恐れがあることや、秘密指定は何度でも延長可能で、永続的に情報開示を 拒むことが出来るなど懸念される点が多いことである。 国民の知る権利、報道の自由を守る必要があることから、今一度、世論の意見に耳を傾け、 もっと議論を深めるべきと考える。 反対（9） 日本を取り巻く環境は厳しさを増している。 そのような中、基本的に立場を同じにする欧米や東南アジア諸国と信頼関係を築き、隣国の 脅威に協力して備える必要があることから、関係各国で情報を共有する必要がある。 今回の法律は、防衛、外交、スパイ活動、テロ活動など一定期間秘密にしておくべき内容 について、それを取り扱う立場にある国家公務員や政治家を対象としたものであり、一般国民 を対象にしたものではない。 陳情内容を確認したところ、誤解に基づくと考えられる記述があることから、陳情に対して は反対。																			

【(賛)：賛成 (反)：反対】

議案の審議結果

件名	会派・議員名	創水会						無限21			新政同友 クラブ		水保 クラブ		日 本 共 産 党		公明党	結 果
		大川 末長	高岡 利治	岩村 龍男	谷口 明弘	瀨上 道昭	真野 頼隆	谷口 眞次	藤本 壽子	緒方 誠也	塩崎 信介	福田 齊	中村 幸治	田口 憲雄	野中 重男	川上 紗智子	牧下 恭之	
●脱原発を目指す首長会議 負担金の削除について	議長	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	賛	賛	反	賛	反	反	反	賛	修 正 可 決
	～討論～ 賛成（9） 「脱原発を目指す首長会議」は組織率が低い現状で何を持って全国自治体を対象とした首長会議と言えるのか、水保市が参加することで何を発信し、何をしようとしているのか見えない。 水保市は公害を経験した街であるがゆえに、真に水保の自主性を発信できるような事業への参加をお願いしたいため修正案に賛成。 反対（6） この会議の目的は①新しい原発は作らない、②できるだけ早期に原発をゼロにするという方向性を持ち、多方面に働きかけるとなっている。 脱原発を市長選挙の公約に掲げた西田市長は、脱原発という多数の民意に沿って、市長が会議に参加するのは当然のことであるため修正案に反対。																	
●誘致企業立地促進補助金 の削除について	議長	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	賛	反	反	賛	反	反	反	賛	同 意
	～討論～ 賛成（8） 何の進展もないまま、今回提案されたことに疑問を感じる。 西田市長は提案理由を「対外的な評価と信用を得るべき水保市が、要綱の交付要件に合致している案件に対して、いまだ補助金を交付していない事実を重く受け止め判断した。」と述べているが、問題は公平、公正であるべき行政が1社への利益誘導、あるいは利益加担であり、厳にあってはならない。 出発点が間違っているものであり、随意契約の覚書を破棄し、市長が謝罪してすむ問題ではないため修正案に賛成。 反対（7） 今回で6回目の提案であるが、その間、入札事業者への説明会、意見交換会、随意契約を競争入札に戻し、地元企業への補助金制度の構築、覚書の破棄などを行っている。市は要綱にのっとり補助金を支払う立場にある。今後の企業誘致活動、地元企業の事業拡大、企業支援等全般を左右する案件であることから、修正案に反対。																	
●副市長の選任について （本山 祐二 氏）	議長	反	反	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	同 意
	～討論～ 賛成（10） 反対（5） 副市長選任については3月議会で提案されるべき案件ではなかったか。また、行政機能の能力アップという面から考えれば、経済界からの登用等も考えられたのではないかと。																	
●教育委員会委員の任命に ついて（吉本 哲裕 氏）	議長	反	反	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	同 意
	～討論～ 賛成（10） 反対（5） 前任者は4年の任期で数々の実績を挙げ、教育関係者の間でも評価が高かった。 本来再任できる人材が居たにもかかわらず、3ヶ月の空白期間を作ったことに市長としての責任を問われる問題だと思う。 また、人事案件は市長の専権事項であるが、水保市政の安定と改革を望み前任者の継続を提案してきたが、今回の提案は我々の考えに一切妥協を認めない姿勢を示している。 市長は自らの発言に責任を持ち、早急に議会との関係を修復されたい。																	
●教育委員会委員の任命につ いて（河田 奈保子 氏）	議長	反	反	反	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	同 意
	～討論～ 賛成（9） 反対（6） 人事案件は市長の専権事項であるが、今回の提案は我々の考えに一切妥協を認めない姿勢を示しているため、同意できない。																	

【賛：賛成 反：反対】

あなたの声を市政に

一般質問

6月定例会では、6人の議員が一般質問を行いました。

水俣市は1人70分以内で、1テーマにつき3回まで質問できます。議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁の一部を掲載しています。

●真野 頼隆（11ページ）

- 施政方針について
- みなまた環境まちづくり推進事業について
- ローズマラソン大会について
- くまもと県南フードバレー構想について

●谷口 眞次（12ページ）

- 脱原発を目指す首長会議について
- 産業振興について
- 観光振興について
- プレミアム商品券について
- 小中学校における自転車事故について

●野中 重男（13ページ）

- 水俣病について
- 原発事故時の避難計画について
- 川内原発再稼働の動きについて
- 水俣城の発掘状況と今後について

●藤本 壽子（14ページ）

- 川内原子力発電所再稼働時における避難計画について
- 学校現場における諸問題について

- 農林水産業の振興と働く場の確保について

●谷口 明弘（15ページ）

- 平成26年度一般会計補正予算について
 - ① みなまた環境まちづくり推進事業（環境大学院拠点整備）について
 - ② プレミアム商品券発行事業について
- 第5次水俣市総合計画第2期基本計画について
 - ① 定住化の促進について
 - ② 企業誘致による産業振興について
- 市民の声から
 - ① 花火大会について
 - ② 日本一長い運動場について

●川上紗智子（16ページ）

- 市長の政治姿勢について
- 新幹線鉄道の騒音・振動問題について
- フリーゲージトレイン走行試験計画について
- 就学援助について
- 給食費無償化について

一般質問席

会議録の閲覧は 図書館 議会事務局 水俣市ホームページ で!!



真野 頼隆 議員

市長マニフェスト 要チェック！！

- 【問】 市長はマニフェストをどう予算に反映しようとしているのか
- 【答】 実現可能なものから担当職員とともに検討し、水俣市総合計画に反映していく。
- 【問】 今回の肉付け予算で特に力を入れている施策は何か
- 【答】 「大学・大学院の活動拠点施設の整備」「子ども医療費の中学生までの無料化」「プレミアム商品券の発行」の三つである。
- 【問】 財政状況が厳しい中、財源確保をどうするのか
- 【答】 行財政改革を進め、

限られた財源の中で効果的な事業執行に努めるとともに、事業のスクラップアンドビルドによる財源捻出や、補助金については、国や県のほか財団などいろいろな補助金を活用していく。



大学・大学院の拠点施設を どこに置くのか

- 【問】 大学・大学院の活動拠点をどこに建設するつもりか
- 【答】 旧水俣第三中学校、水俣市勤労青少年ホーム、旧水俣高校商業科棟の三つの中から、旧水俣第三中学校舎跡地を第一候補地と考えている。

- 【問】 建設にあたっても全額補助が受けられるのか
- 【答】 建設の経費は、全額が補助の対象となる見込みで、負担割合について設計と同様に国が8割、県と市がそれぞれ1割となるよう国や県と協議を進めている。

ローズマラソンの今後は

- 【問】 水俣市陸上競技協会主催の第1回、第2回みなまたローズマラソン大会をどのように評価するか
- 【答】 ファミリーの部等のエントリーがあり、健康づくり、体力づくりとしてのスポーツに対する市民の幅広いニーズに貢献しているため、市民スポーツの推進に大きく寄与している。
- 【問】 現在の推進状況は
- 【答】 人吉・球磨地域では、球磨焼酎のブランド確立のための事業他、新規薬草の試験栽培、八代地域では、トマトを活用した新メニュー開発や晩白柚を活用した商品開発、水俣では、クマモト・オイスターの試験養殖の他、サトウキビの機能性検証及び成分分析評価を行っている。

県南フードバレー構想の進捗は

- 【問】 現在の推進状況は
- 【答】 人吉・球磨地域では、球磨焼酎のブランド確立のための事業他、新規薬草の試験栽培、八代地域では、トマトを活用した新メニュー開発や晩白柚を活用した商品開発、水俣では、クマモト・オイスターの試験養殖の他、サトウキビの機能性検証及び成分分析評価を行っている。



第2回みなまたローズマラソン

脱原発を目指す首長会議 の目的と活動は



谷口 眞次 議員

問 目的とこれまでの活動は

答 できるだけ早期に原発をゼロにするという方向性を持った自治体の長（元職を含む）で組織する会で現在全国で98名。原発の実態把握や原発ゼロまでの行程の明確化や再生可能エネルギー政策の具体化、福島への支援、意見交換や勉強会などを行い定期的に政府などに働きかけてきた。

問 川内原発再稼働の動きについてどう考えるか、また現状の避難計画で水俣への受け入れが可能と思うか

答 再稼働については慎重に慎重を重ねて対応して頂きたい。現状の避難計画においては高齢者、障がい者等の要支援者の把握や交通渋滞、トイレ、駐車場など多くの課題があり出水市と協議する。

田中商店への補助金が再度 計上された理由は

問 田中商店への誘致企業立地補助金が今回また計上されたのはなぜか。またこれまでの経緯をどう認識しているか

答 田中商店では、9,277万円の投資と5人の新規雇用をされ、23年9月に立地協定も締結し、要件を満たしている。議会では他業者への説明や情報提供、参入の機会が与えられないまま1社と覚書を結んだことに対



バラ園・桜まつりの 集客は

問 バラ園の駐車場の増設は出来ないか、桜まつりの開催日の変更は出来ないのか、また旧水天荘の利活用は

答 バラ園前の駐車場改修と増設を県と検討中。桜まつりは観光物産協会とJRRと協議をしたい。水天山公園と旧水天荘については、現地を調査し、地元住民や関係機関と協議し、検討していきたい。

プレミアム商 品券の改善を

問 市民や商店街から要望があったのか、今回の商品券の内容は

答 商店会連合会や商工会議所から要望があった。前回は大型店に集中したり、多くの世帯に行き渡らなかった事もあり、不公平感を是正するよう努めた。



水俣産業団地入口



野中 重男 議員

川内原発は再稼働すべきではないと考えるが…

避難計画もできていない現段階で再稼働はありえない。

(市長の答弁より)

原発事故時の 避難計画は

問 過酷事故の場合、水俣は出水から避難者を受け入れるが人数、避難箇所、場所はどうか。移動はどうするか。

答 6,645人で市体育館1,000人を筆頭に28ヶ所で受け入れる。またお世話や費用は出水市が負担する。移動は自家用車とバスと聞いている。

問 原発の30キロ圏内には14,000人の入院入所者がおられるが避難計画はできているのか。また避難者や車両などの放射能汚染検査や放射能を取り除く除染はどうするのか。

答 5キロ圏内は作られたがそれ以外は未作成と聞く。放射能検査などは国などから対策の指針は示されていない。

問 原発が止まり火力発電所の稼働が高まり、石炭などの輸入が増えて電力会社の経営が悪化し、景気も悪くなるという話があるがそれは違う。

答 この3年間化石燃料の輸入は増えていないし景気も悪くなっていない。燃料費の高騰は円安が原因である。また原子力規制委員会委員長は「我々の審査で

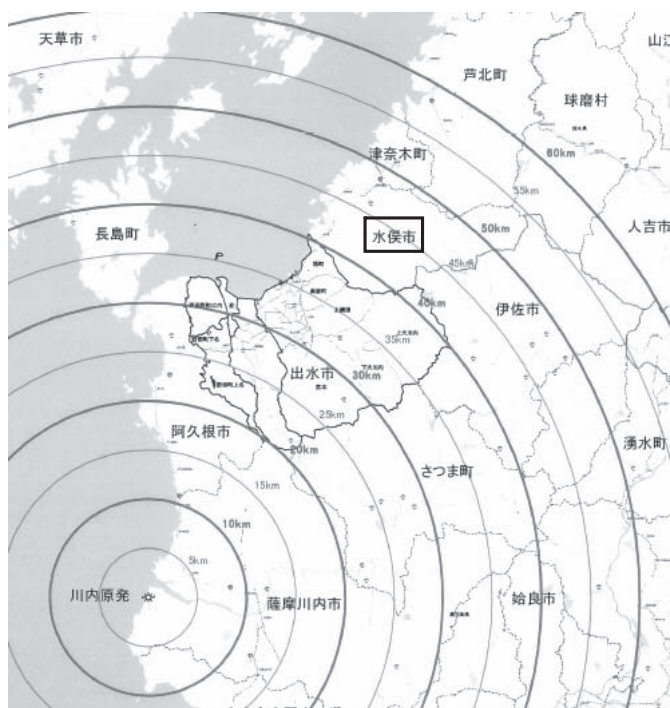
絶対安全とは言っていない」と述べている。川内原発は160キロ以内に活動性が高いと気象庁が言う活火山があり、噴火はいつ起こるかわからないと東大噴火予知研究センターは言っている。

避難計画もできていない。

このような状況で原発の再稼働はありえないと考えるがどう思うか

答 水俣は水俣病の被害を受けた。市民の生命財産を守る点からして心配している。慎重にも慎重な対応が必要である。避難計画もできていない段階で再稼働というのはありえないと考える。

この他にチソの消滅に繋がる会社法の修正案と水俣病のこと、水俣城の発掘について質問しました。



九州電力川内原子力発電所からの距離

避難計画が不備な状態での川内 原発再稼働は認められるのか



藤本 壽子 議員

問 出水市との避難計画の進捗状況は

答 出水市と協議中であり、スクリーニングの実施場所、要援護者の受け入れ等については、決まっていない。

問 避難計画が不備な中、また、原子力委員会が策定した新基準には、構成上不備がある指摘されている。また火山の噴火、地震、更に川内原発が稼働すれば、年間50トンの核のゴミが出る。このような状況での再稼働をどう思うか

答 6月4日、東京で全国市長会議が開催され、

6つの事項を決議した。その上で本市においても、決議を尊重し、再稼働に

子どもと向きあうため、教 職員の待遇改善を

については慎重に、慎重を重ねて対応していただきたいと考えている。

問 水俣の学校図書司書は、2つの学校しかおらず、その費用の半分は、PTAが負担している。他市と比べても少ないので改善する必要があると思うが

答 残りの小学校5校中学校4校には、ローテーションでの配置を計画。充分でない状況である。

問 教職員の勤務時間は長く、土・日もクラブ指導、資料、書類作りで生徒と向きあう時間が少ないという現状を聞く。教職員の心と体の健康があつてこそ、生徒に良い教育が出来ると思うが

答 勤務時間記録報告

書により、それを元に先生方の健康状態の把握をしている。学校は、生徒指導、保護者対応、部活動など仕事内容の多くを区切ることが出来ないという特殊性がある。

農林水産業での働く場の確保は

問 地球温暖化防止、水源の涵養などに加え近年の間伐材を利用した事業のためにも間伐をする働き手が必要と思うが、現状は

答 毎年200haを水俣市北森林組合で行っているが、働き手は年々減少している。

問 休耕田の活用事業農産品での新しい展開はあるのか

答 抑制かぼちゃ、太秋柿、水産業では、しらすなどが観光団体と連携をしながらブランド化をめざしている。休耕田活用事業としては、「寄ろ会みなまた」

の菜の花を活用したまちづくり事業、水俣特産焼酎づくり実行委員会では、芋焼酎「水俣あかり」の原材料となるからいも栽培など市民協働での取り組みがある。



「水俣あかり」原材料（芋）の収穫



谷口 明弘 議員

環境大学院の施設候補地は見直すべき

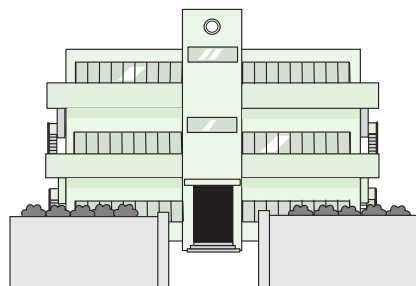
〔問〕 施設整備の候補地として旧水俣第三中学校跡地を第一候補としているが、建設コストが旧三中の場合、3億〜3億5千万プラス、解体費用4千万。他の旧水俣高校商業棟の場合3千万〜8千万、勤労青少年ホームの場合5千万〜1億と一番コストが高い。旧三中跡の利用価値は他にも考えられ、市全体のグラウンドデザインを考えて他の遊休資産である旧深川小学校跡地や水天荘跡地も含め見直すべきではないか。なにより、なぜ、議会に対し

てそのような重要な事項の決定を事前に報告がないのか。また「環境大学院構想」というネーミングを「環境産業大学院構想」などに

変更し、地域経済の活性化にも寄与する大学の誘致を想起するような名前に変更してはどうか

〔答〕 旧第三中学校跡地を第一候補地と考えているが、決定したわけではない。旧水俣高校跡地なども県の教育委

員会との用地交渉などを進め、慎重に決定する。ネーミングについても検討してみる。



定住化の促進・企業誘致を積極的に

〔問〕 全国的に自治体間で企業誘致の補助金など獲得競争が激しさを増す中、工場などの大量雇用の企業を招致するのは大変厳しい状況となっている。ＩＴ関連などクリエイティブな事業を展開する若手企業家を本市に呼び込むために高速ＩＴインフラの整備をするべき

ではないか
〔答〕 今後、そのような方向も検討したい。

他にも花火大会が中止になった理由や日本一長い運動場の除草作業について質問した。

効果的なプレミアム商品券発行事業に

〔問〕 プレミアム商品券が一部の市民にしか購入できない不公平性の是正と、大型店舗と中小小売店間の使用割合の不公平感の是正をどのように改善するのか。販売実施期間を10月〜12月としているが、そもそも、消費税増税後

の消費の落ち込みのテコ入れという趣旨をあげていたのなら、来年の10%増税時が最適ではないか

〔答〕 不公平感の是正には、個人で購入出来る金額の上限の引き下げや、商品券を中小の事業者でしか使えない専

用券とどこでも使える共通券のセット販売することでは是正出来ると思う。実施時期については出来るだけ早くするべきと考えており、10月から実施したい。



集団的自衛権行使については 幅広い国民的な議論踏まえ、慎重に対応すべき (市長の答弁より)



川上紗智子 議員

問 政府の憲法解釈変更による集団的自衛権行使の容認について市長の見解は

答 憲法と自衛権をめぐる政府の見解は、様々な変遷を経て、現在では、自国が攻撃された場合に限って、個別的自衛権が例外的に認められるとして運用されている。

集団的自衛権の行使というような重要な問題については、やはり幅広い国民的な議論を踏まえたうえで、慎重に対応すべきものであると考えている。

問 立憲主義についての市長の認識は

答 立憲主義とは、憲法によって国家権力を制限し、個人の権利・自由を保護しようという、これまでの歴史の変遷から生まれた考え方であると認識している。

新幹線鉄道の騒音・振動問題への対応は



新水俣駅

問 市として今年度どう取り組んでいくのか

答 昨年は、JR九州や鉄道運輸機構に対して当時の宮本市長が直接申し入れをしているので、西田市長からも申し入れなど出来ないかと考えている。

問 今後、騒音振動測定は実施するのか

答 昨年度に引き続き、本年度も、環境省が定める新幹線鉄道騒音測定・評価マニュアル等に準じて、昨年実施した同一地点に於いて、実施する予定である。

給食費の無償化の検討を

問 学校給食の無償化について、本市はどのように考えているのか

答 本市では、小学校1食225円、中学校1食265円と、県下でも安価な給食費で運営している。さらに、今年度は、消費税増税後も給食費は値上げせず、地元産の野菜や安い食材を使用するなど、安くておいしい給食を提供することに努力している。現時点での給食費の無償化は考えていない。

問 熊本県内における自治体による給食費への補助の状況は

答 完全無償化している自治体はない。山江村、相良村、南関町など14町村が一部補助。内容としては、月額80円から2000円までの定額補助、2町村では、米代の全額補助や、地元食材に年間40万円補助している。



常任委員会の報告

*委員会とは、議会の内部組織として、本会議における審議の予備的審査、調査機関として設置されるものです。

(◎委員長 ○副委員長 委員は50音順)

総務産業委員会

◎瀨上道昭 ○谷口明弘 岩村龍男 大川末長
谷口眞次 中村幸治 野中重男 福田 斉

●平成26年度水俣市一般会計補正予算中付託分

質疑—環境大学院の設置場所は第三中学校跡に指定し、設計費用2,500万円を予算計上しているのか。

答弁—第三中学校跡地を第1候補と述べたが、水俣高校跡や深川小学校跡など、いくつかの候補地も慎重に検討していきたい。旧第三中学校ありきではない。

質疑—農業振興の各種補助制度の周知方法は。

答弁—農業推進員や農業委員の方を通じ周知したり、新しい制度については、該当者に案内をして説明会を実施している。

質疑—プレミアム商品券の発行時期や大型店用、小売店用の割合等については、商店街連合会や商店街以外の各商店の声も聞き精査すべきと思うが。

答弁—商店街や関係者の方々と意見交換等を行ってまいりたい。

●下水道事業特別会計補正予算第1号について

質疑—白浜雨水ポンプ場改築工事の内容と、着工について

答弁—今年度実施設計を行い平成27年度から28年度にかけて工事を行うものである。内容は機械設備の減速機、ポンプ用ディーゼルエンジン、空気圧縮機、コントロールセンター、水位計等の更新を予定している。

質疑—古城地区雨水幹線整備工事場所について

答弁—昨年度からの継続で田平団地横の水路の整備を行うものである。



厚生文教委員会

◎塩崎信介 ○田口憲雄 緒方誠也 川上紗智子
高岡利治 藤本壽子 牧下恭之 真野頼隆

●平成26年度水俣市一般会計補正予算中付託分

質疑—生ごみ処理機キエーロの普及活動計画は

答弁—現在モニター調査を実施しており、夏以降に協力者に対し、キエーロを使用している時の臭いや状況について、アンケート調査や座談会を実施し、そこで出た意見を参考にして、生ごみ収集している地域と収集していない地域のバランスを考えながら、普及を進めていく。

質疑—市内各小中学校に設置される電子黒板の活用方法と先進地からのデメリット情報はないか。

答弁—各小中学校に1台ずつ設置し、授業で利用しながら今後の活用について検証していく。デメリット情報については先進地からの情報は聞いておらず、本市で実際に使用し、デメリットがあるかについて検証したい。

質疑—今年度は久木野小学校の外壁補修と非構造部材の耐震工事が予定されているが、他の小中学校も実施していくのか

答弁—平成27年度は水東小学校体育館と久木野小学校体育館の吊り天井の撤去を予定しており、最終的には市内全小中学校の非構造部材の耐震計画をたてている。

質疑—読書のまちづくり人材育成支援事業はどのような事業か

答弁—読書のまちづくり推進による人材育成支援事業を市内業者に委託し、その業務に携わる人を3名雇用する。その3名に企画運営やイベント運営の研修、書店運営に関する研修を受講してもらうことで、民間でも本を活用した事業の展開や新しい業種の開拓に繋がっていくと考えている。



たい聞きたい

報告会へのご参加ありがとうございました。

第6回議会報告会は、4月21・22日に計

8力所で開催し、参加者62名でした。

議会報告会は、みなさんに議会を身近に感じていただくために、定例会の報告を中心

に開催しているものです。なお、この報告会は、原則として議員個人の意見は述べないこ

とになっています。報告会でのご質問などで、市に対するも

のは市に伝え、その回答を掲載させていただきます。

類似している質問には、まとめて回答されているものもあります。ご了承ください。

○…市民の質問 議…議会の回答 市…市の回答

農林水産業の支援のこと

○ 今年度のアグリサポート体制の委託先とどのような内容で利用料金はいくらか

市 今年度も引き続き「(株)それいゆアグリ」(JA子会社)に10月31日までの期間で委託しています。

作業内容は、基本的に農家から依頼された収穫作業、剪定作業、草刈作業等を引き受けます。料金は作業内容や時期、使用する機械などにより異なりますので、詳細は農林水産振興課へお尋ねください。



○ 青年就農給付金はどのような内容で、新規就農者は何人くらいか

市 青年就農給付金は、新規就農を目指す45歳以下の方に對し、経営が軌道に乗るまで年額150万円(最長5年間)を給付するものです。

現在11人の方がこの制度を活用しています。

○ 現在の水俣の水揚げ量はどのくらいか。どのような対応をしているか

市 水俣における過去2年間の水揚げ量は、約178tとほぼ横ばいとなっています。現在は、ヒラメ、カサゴ、エビ、タイ等を放流し、また、藻場育成に努めています。漁業従事者の高齢化に伴う漁獲量が減少しているのが現状です。



特 集

第 6 回

議会報告会

今回実施した会場

4 月 2 1 日

深川小学校跡

(瀧上道昭 真野頼隆
中村幸治 緒方誠也)

21区公民館

(谷口明弘 大川末長
牧下恭之 藤本壽子)

白浜集会所22区公民館

(塩崎信介 岩村龍男
川上紗智子 谷口眞次)

北袋公民館

(高岡利治 福田 斉
野中重男)

4 月 2 2 日

長崎公民館

(瀧上道昭 真野頼隆
中村幸治 緒方誠也)

おれんじ館

(谷口明弘 大川末長
牧下恭之 藤本壽子)

水俣市公民館会議室

(塩崎信介 岩村龍男
川上紗智子 谷口眞次)

初野集会所

(田口憲雄 高岡利治
福田 斉 野中重男)

議員に言い



○ 農業、水産にもっと目を向けて欲しい。環境を守りながら人口をどう増やすか。水俣は特別の地域だから、それを生かして欲しい

市 本市においては、柑橘類、お茶、サラダ玉葱などの商品作物を中心として、地域の特色を活かした農業が営まれているほか、しらすをはじめとする水産業等も営まれています。御指摘のとおり、農業、水産業等の振興を図っていくことは、本市にとって大変重要であると認識していますので、今後も継続して各種支援を行なっていく予定です。



サラ玉植付

○ 家の裏などにある大木（裏山の太木…民有地）の処理に困っている。切るのが難しい。まず調査して欲しい。危険地域を調べ対策を立てて欲しい

市 現場を確認しましたところ、確かに切り倒すには住宅が近く困難であると思います。しかしながら、今回の場所については民有地内であるため公共事業として対応する事はできませんので、土地所有者若しくは関係者で伐採をお願いします。

ちなみに、この場所については、急傾斜地崩壊対策事業の要件となる急傾斜地崩壊危険箇所範囲に含まれていませんので事業による対策は困難です。

また、林務課関係事業の場合、民有林の伐採は行っておらず、森林組合等にお問い合わせしています。山が危険な状態であれば、現地調査を行い、治山事業の採択要件に合えば、保安林に指定していただき、予防治山の工事が可能となります。

福祉のこと

○ 延長保育促進事業補助金
はこんなに必要なのか

市 延長保育は、保護者の就労時間に対処するため8時間を超えて11時間開所を行う保育所に補助する基本分と、さらに11時間を超えて30分から1時間開所する保育所に補助するもので、国・県・市で1／3ずつの支払となっていました。

平成25年度には387人の児童が延長保育（基本分を除く。）を利用しており、現在の勤務形態の多様化等に対応するためには、当該補助金は必要であると考えています。



○ 団地などの母子家庭の家では、夜遅いお母さんを待っているという状況がある。夜間保育などもっと充実させるべきでは

市 夜間保育については代替事業として、既存事業の子育て短期支援事業やファミリーサポートセンター事業を紹介しているところですが、夜間保育の実施について、需要等を鑑み、可能かどうか検討します。

○ 地域のリビング活動などの予算の使い方で疑問を持っている。使い道が適切であるかどうかは、監査する必要がありますかと思うが

市 地域リビング活動事業費の支出は、活動する施設の光熱費や使用料、備品等です。御指摘のデジカメについては、平成24年度にこの活動を記録、確認するために配布しました。配布に当たって個人のカメラを使うから不要であったりリビングには配布しませんでした。また、デジカメの支出について

では、国からの助成（法人運営事業費）から支出しており、市の監査対象ではありません。

○ 社会福祉協議会の予算書は不備なところが多いと思うが

市 社会福祉協議会の予算書は、社協が社会福祉法人であることから「社会福祉法人」で定められた書式に基づき作成しています。定められた書式であり、予算書様式としては問題ありませんが、社協自体が公的な性格を持つ民間の福祉団体でもあることから、皆様方に、より社協の運営等がご理解いただけるよう出来るところから改善していきます。

○ 市長は、社会福祉協議会の所轄長になっている。法律が改定になったわけだから、きちっと所轄長としての仕事ができるように、役員選びをして欲しい

市 市は、社協を監査・指導する所轄となっていますので、きちんと監査していきます。また、役員等の選出についても社協の運営改革につながるよう人選を今後も行っていく予定です。



○ 社会福祉協議会の管理職手当は給与規定になく、評議員に対する費用弁償規定もないと思うが

市 管理職手当を含む給与の支給については、市の給与条例の規定にある「社会福祉協議会への水俣市職員の派遣等に関する取決め書」第4条（給与）の定めと、平成26年4月1日に施行した、「水俣市社会福祉協議会給与規定第11条第1項（手当の種類）」、同規定第16条第1項（管理職手当）の定めに基づき支給しています。評議員に対する費用弁償の支給については、「水俣市社会福祉協議会 非常勤役員等の費用弁償及び旅費規程」の定めに基づき支給しています。



○ 社協の理事には利害関係のあるところは入ってはならないとあるが、共同募金の分配団体も加わっている

市 共同募金の各団体等への分配金については、「水俣市共同募金地域配分委員会設置・運営規定」を設け、理事で共同募金の配分に利害関係がない者、数名を委員として選出し、この委員会受配を受ける団体等の資格審査と配分額を決定しています。また、理事会、評議員会においては、当初予算については分配金の予算総額、決算については分配後の決算額と各団体等への分配額を報告し、議決をいただいています。したがって、利害関係があるとは考えていません。

○ 社協には予算の専決処分という制度はないのに、予算執行していないか

市 社協の専決処分については、水俣市社会福祉協議会庶務に関する規定第8条（専決事項）に定められています。しかしながら、予算の専決処分は限られた場合のみとなっており、予算に係る急務な補正等が生じた場合は、臨時理事会・評議員会を開催し、理事会の同意と評議員会の議決を求めていると思います。

○ 市長を社協の会長にすること自体がおかしい。社協の改革検討委員会を作ってもらいたい

市 平成24年3月から平成25年3月末にかけて「社会福祉協議会運営等改革検討委員会」を設置し、社協の運営改革に関すること等を検討してきました。現在、理事会・評議員会の皆様方へ社協の運営状況等を説明しながら活発な御意見、御提案をいただいていますので、現段階で改革検討委員会の設置は考えていません。

自治会のこと

○ 自治会の今後のあり方について、協力員やリサイクル当番のなり手がいなかったり、できない人が増えているなどの実情をどう考えているのか。協議経過や進行状況が分からない

市 市内全ての自治会の状況について十分把握しているとはいえませんが、各自治会からは個別に相談を受け、それぞれの地域の実情に応じた対応を行っています。

○ 自治会というのは、どこを対象にしているのか。26自治会以外にも自治会がある

市 水俣市が行政上で考えている対象は、水俣市自治会組織の振興等に関する規則第2条別表に定める1区から26区を行政区の単位として、その区域の住民により組織される自治組織としています。

○ 自治会活動を行政と議会がどのように理解しているのか。自治会長会議も通達事項になっているので、検討してもらいたい

市 自主的に活動する身近な組織であり、地域における様々な問題の解決に取り組む、祭りや運動会等いろいろな行事を通じて連帯感を深め、明るく安心して暮らせる地域づくりを目的に活動を行っており、その自治会活動が活発になることは、市の活性化やまちづくりにつながっていくと考えています。なお、議会としても同様に考えております。

自治会長会議では、通達事項だけでなく、各自治会が抱える問題や検討事項を議題に取り上げたり、自主勉強会を実施しています。



ごみ分別の様子

道路のこと

○ 電線ケーブルの地中化が、「しまむら」で終了になった。延長して欲しいと市長に陳情書を出したが、その後どうなっているか

市 電線地中化の延長については、市としても必要であると考えており、昨年8月に国土交通省に要望書を提出しています。また、県を通じて国土交通省や関係機関に事業の延伸要望を継続して行っています。

○ 袋インターは市で作るのか。お金が無いのに私は必要ないと思っている

市 本線及びインターは国土交通省、インターから国道3号までの取り付け道路については、水俣市で整備し、財源については、国の補助金等の財源確保を含め、できるだけ市の負担額を軽減できるように進めていきたいと考えています。なお、必要性については、北側の玄関口としての水俣インターと併せ、南側の玄関口として袋インターを設置することにより、観光産業及び商業の発展、農林水産業の販路拡大が期待できること、国道3号及び市街地の慢性的な交通渋滞が解消されるときにも、緊急医療時の搬送や災害時に国道3号のバイパスとしての機能など総合的に検討を重ねた結果、袋インターは必要であると判断しています。



国道3号線

○ 花火とか、イベントの交通渋滞のため、エコパークから丸島に抜ける道が狭い。せめて離合場所が欲しい

市 住民の皆様からも道路拡張や離合箇所設置等のご要望を受けておりますので、市としましては道路改良工事や離合箇所設置等による検討を進めております。



老人クラブのこと

○ 老人クラブへの補助金を増額して欲しい

市 高齢者の生きがい・健康づくり活動や地域の支え合い活動などを支援するため、老人クラブへ補助を行っている

すが、会員数は減少傾向であり、国・県補助金も年々減額

されている状況です。老人クラブの会費等の自主財源、他団体からの補助金等収入の状況を見極め、本市の補助金額が妥当か検討していきます。

医療センターのこと

○ 水俣市総合医療センターで継続して治療してもらっているが、1ヶ月後に予約しているても、保険証を提示するなどの手続きが必要なため不便に感じる

市 医療費は、3割を患者が負担し、残りの7割は社会保険や国民健康保険などの保険者が負担しています（年齢等によって割合が異なります）。医療機関は、厚生労働省が定める「保険医療機関及び保険医療費担当規則」に基づき、患者が提示する保険証により、療養の給付資格を確認することが義務付けられており、保

険証の確認に基づいて医療費の7割を保険者に請求しています。患者の立場からは、毎月、提出を求められるのは面倒だと思われるかも知れませんが、基本的には受診のたびに保険証の確認を行うことになっています。

ただし、受診のたびに保険証を確認することは、医療機関にとっても大変ですので、レセプト（医療報酬明細書）の請求に合わせて毎月1回の確認とさせていただいていますので、御理解ください。



組織改革のこと

○ 市役所職員の職せき（役職名）は減らせないか

市 今年度、組織・機構改革検討委員会の中で、適性な組織機構について検討します。

○ 水俣市振興公社はどこにあるのか、職員の採用は独自に行うのか

市 水俣市振興公社の主たる事務所は、もやい館2階にあります。

公社の職員採用は、振興公社が独自に行っています。なお、職員採用時には、ハローワーク等を通して求人していることです。

防災のこと

○ 自主防災組織のことだが、組に対する補助金が始まりだ。そのため、区への補助金が少ないという可能性がある。

今、自主防災組織は区単位

のようになっているが、26区以外にもあるはずだ。自主防災組織の連絡協議会を作るべきだと思う

市 平成26年4月24日に、各自治会・地域等の自主防災組織の連合体で組織した「水俣市自主防災組織連絡協議会」

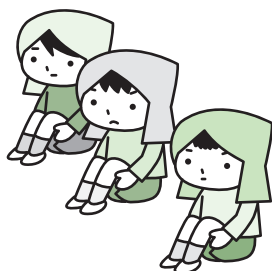
を立ち上げています。

○ 地区で防災訓練を行っているが、防災無線の整備はどの様に進んでいるのか

市 平成25年度から防災行政無線のデジタル化での更新準備を進めるため、検討委員会を立ち上げ検討しています。平成28年度までに整備工事などを終える計画で進めているところです。

○ 防災の啓発活動をやるべきではないか

市 今年4月に水俣市自主防災組織連絡協議会を立ち上げています。今後、自然災害による被害の防止及び軽減を図るため、さまざまな研修会への参加、防災訓練を行うことにより、防災に対する知識、理解が図られていくものと考えています。



○ 初野地区に県が砂防ダム建設を予定しているが、いつから工事を始めるのか、また地域説明会はいつか

市 砂防ダムの事業主体である熊本県に問い合わせたとこ

ろ、平成25年10月中旬から平成26年3月下旬にかけて調査測量を終えましたので、平成26年6月から7月頃には地域説明会を計画しているとのこと



市役所内海拔表示

○ 海拔表示は市内にしかないが、初野地区にも設置してもらいたい

市 海拔表示については、現在、市内数箇所において国土交通省、熊本県が設置しています。本市においても、今後、必要に応じて対応していきます。

市営団地のこと

○ 初野団地の外壁補修を行っているが、自治会への説明がなかった。事前に説明し

て欲しい

市 初野団地への外壁改修工事は引き続き行いますので、工事の際は事前に自治会へも説明します。

○ 西ノ浦団地公園の遊具が壊れていたため市職員に伝えたと、地域からも要望が出ていたと言いつつ終わってしまった。現在も立ち入り禁止にしている訳でもなく、危険な状態である。市は本当に危険を把握し何か策を講じているのか。また、市内の公園についてもしっかりと見回りを行っているのか

市 西ノ浦団地の遊具については、対応が遅れて大変申し訳ございません。遊具の使用を禁止し、業者へ修繕を依頼しました。また、市内の公園については、随時見回りを

その他のこと

○ 乗合タクシーの利用者は少ないのに多額の補助をするのはどうかと思う

市 乗合タクシーについては、交通空白地帯の解消を目指し、自家用車などを持たない市民の足を確保するために運行を行っていますので、運行についてご理解を頂きながら、市においても周知を図り、利用者増加に向けて取り組んでいきます。

○ おれんじ鉄道のエコパーク駅はできないのか

市 水俣駅の改修工事は今年度実施予定であり、水俣駅の改修後の状況を見ながら、エコパーク駅の設置については検討していきますので、現状では難しいと考えています。



おれんじ鉄道水俣駅

○ 寒川水源水を水道水に利用できないか



寒川水源

市 寒川水源を水道水として利用することについては、施設整備に要する費用と利用可能な水量から想定される給水区域の人口を考えると、現時点では費用に見合う収益の見込みがなく利用は困難です。しかしながら、将来的に施設の老朽化等に伴い、新たな水源の整備等の検討を行う必要が出てきた際は、寒川水源の利用も含めて検討を行いたいと思います。

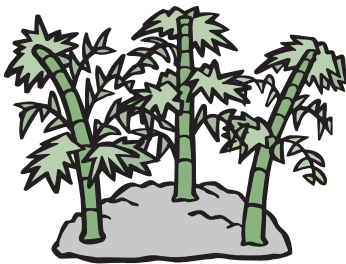
○ 深川小学校跡を歴史民俗資料館に利用できないか

市 歴史民俗資料館は、展示・教育施設であるとともに資料を適切な温度・湿度の中で保存できることが望ましいと考えています。

旧校舎の活用と言えども相応な改修費用を要する可能性があり、閉校校舎を利用した歴史資料館については、今後、優先的に取り組む課題、調査研究等を整理し、施設の規模等、財政的な面も含め検討します。

○ 竹のバイオマスは現在どうなっているのか

市 環境省の補助事業（平成22～24年度）が終了し、平成25年度以降は事業主体であるJNC(株)が事業を継続しています。



○ エコパークでイベントをする際に、宿泊所や弁当の充実など利便性を高めてもらいたい

市 弁当など食事場所は、道の駅内にある「たけんこ」を利用してもらいたいと思います。スポーツイベントのとき等はお弁当の対応も行っています。宿泊施設はみなまた観光物産協会と連携を取りながら進めていきたいと思っています。

○ エコパークの推進委員をしているが、各開催行事の情報共有などエコパークの管理人と市との連絡がとれていない。エコパークの情報看板もうまく活用されていない

市 平成25年度にエコパーク連絡協議会が設立しました。各種団体がエコパークの運営を行っていますので、本協議会を通じて、横のつながりや連携を深め看板なども効果的に活用されるように働きかけていきます。

○ 太陽光パネルの耐用年数は20年と言われているが、その後の処理などの技術面は確立されているのか



市 現在、処理システムの確立に向けて、環境省と経済産業省が連携して、使用済再生可能エネルギー設備のリユース・リサイクル・適性処分について調査、検討がされているところです。また、将来廃棄される量が著しく増えることが見込まれることから、太陽光発電メーカー、施工・解体・リサイクル業者等においても、撤去や処分が事業として成り立つように、技術開発や事業制度構築を進められるものと考えられます。



○ 水俣駅前の商店の多くはシャッターが閉まった状態だが、どうにかならないか

市 本市では、空き店舗対策として、また商店街の活性化を図るため、平成15年度から空き店舗を利用して事業を展開される商店等に対して家賃補助を行なっています。平成25年度までに30店に補助していますが、ほとんどの店舗が現在でも営業され、商店街の活性化に貢献されています。今後も空き店舗利用者を支援し、空き店舗を減らしていくよう努めていきます。

また、平成26年度に水俣駅舎の改修を予定しており、駅利用者のみならず、市内外から訪れていただく交流の場として整備を考えており、駅前の商店にも波及効果が見込まれます。

議会、議員へ

○ 市役所幹部職員の下りは議会でチェックできないか

議 平成25年度に60歳定年退職となる職員から退職共済年金の支給開始年齢が段階的に引き上げられることに伴い、本年4月から国家公務員の再任用制度に準じ再任用を行っております。その他の退職職員の雇用については市は関与していませんが、議会としては注視していきたいと考えています。

○ 議会報告会の集まりが悪いのは、広報のやり方や時間などに問題があるのではないか

議 これまでも検討してきましたが、さらなる検討に努めてまいります。

○ 若者が近隣の町に土地を求めて出て行く。水俣も流動人口を増やす必要があり、議会でも議論して欲しい

議 議会でも一般質問で取り上げ議論をしています。さらに議論を深めてまいります。

○ 社会福祉協議会には、評議員会や理事会があるとはいえ、市税の額からいって議会にものを言ってもらいたい

議 議会からは理事として関与できる部分で今後も発言していきます。市税からの補助金が投入されている部分では、補助金の内容を予算・決算の面で精査していきます。

○ 自主防災とのからみになるが、川内原発から水俣は48キロ。福島の実状を見ると事故が起これば悲惨なことになる。事故が起これば断言できない。議会としてはどうするべきか、議員も議題にして欲しい。再稼働近しいうなか、対応が急がれると思うが

議 議会としても、一般質問でも取り上げ議論をしています。

○ 議会インターネット中継の画像を良くして欲しい

議 予算の問題もあり、今後検討していきます。

本会議の様子を インターネットで見ることができます



水俣市
ホームページで

インターネット録画放送

水俣市 議会

検索

<http://www.city.minamata.lg.jp>

『市議会だより』のバックナンバーや
詳しい会議録もご覧いただけます。

「議会インターネット中継」をクリック！

不明な点は市議会事務局（電話61-1661）までお問い合わせ下さい。

議会の主な動き

(平成26年4月～6月)

- 4月20日 水俣市消防点検(議長ほか議員出席)
- 4月21日～22日 議会報告会を市内8カ所で開催した(深川小学校跡・21区公民館・白浜集会所22区公民館・北袋公民館・長崎公民館・おれんじ館・水俣市公民館会議室・初野集会所)
- 4月25日 水俣商工会議所新入社員激励会(副議長出席)
- 5月1日 水俣病犠牲者慰霊式(議長ほか議員出席)
- 5月17日 久木野分収林造林組合通常総会(議長出席)
- 5月21日 水俣市建設業協会定期総会(議長、副議長及び総務産業副委員長出席)
- 5月24日 みなまた港フェスティバル(副議長出席)
- 6月2日 平成26年第2回水俣市議会定例会が開会
- 6月7日 水俣市献穀事業「御田植祭」議員出席
- 6月9日 水俣市防災会議及び国民保護協議会(議長及び総務産業委員長出席)
- 6月17日～18日 一般質問、質疑
- 6月20日 各常任委員会
- 6月23日 総務産業委員会
- 6月25日 平成26年度第2回水俣市議会定例会閉会



平成12年度を最後に「さくらマラソン」が終了しましたが、水俣市陸上競技協会が中心となり、PTA、観光物産協会、市などが協力し、未来へ羽ばたく子ども達に陸上競技の素晴らしさを体験させるとともに、地域の活性化を図るため、平成25年に「第1回みなまたローズマラソン」を開催しました。

今年の「第2回みなまたローズマラソン」はアテネ五輪女子マラソン金メダリスト野口みずき選手を大会のゲストに迎え、第1回大会の約800名を大きく上回る約1,350名の参加があり、多くの参加者に喜んでいただきました。

6月17日(火)の6月定例会一般質問を緑東中学校の3年生が傍聴しました。
緑東中学校では「水俣が好き～より住みよい水俣にするために～」をテーマに総合的な学習の時間で、生徒が行政や議会の仕組みを学ぶことをとおし、政治を身近に感じるとともに、まちづくりに進んで参画しようとする意欲を高めているそうです。
是非、皆さんも議場にお越しください。



編集後記

編集委員会が一新されました。「議員や議会が何をやっているのか分からない」、議員にとって頭の痛い言葉です。開かれた議会を目指して、本会議や各種委員会の傍聴も市民の皆様にとえられた権利です。現在はネット中継も行われています。

他市に負けていない本市の活発な議会活動の紹介を通して、もっと関心を深めて頂けるよう、編集委員一同気合が入ります。

編集委員(委員は50音順)

委員長	福田 斉
副委員長	川上 紗智子
委員	岩村 龍男
委員	田口 憲雄
委員	谷口 明弘
委員	中村 幸治
委員	藤本 壽子
委員	牧下 恭之